

【耕畜連携】（兵庫県南あわじ市 粃米サイレージ(SGS)の利用の取組）

【淡路飼料生産組合】

- 南あわじ市では酪農が盛んである中、ウクライナ情勢等により濃厚飼料の輸入価格が高騰し、経費削減につながる国内飼料の利用拡大が急務となったことから、農作業閑散期(冬季)に取り組める粃米サイレージ(SGS)の生産に着目した。
- SGSは高栄養価で、濃厚飼料の代替の可能性があることや、収穫作業が通常のコンバインで可能であることから導入の検討を進め、令和4年度から開始した。
- 配合飼料にSGSを10%ほど混ぜ込み給餌しているが、乳質の低下は見られず、濃厚飼料原料である圧ぺんとうもろこしの代替により経費削減に繋がった。
- 今後は、飼料へのSGSの配合割合の増加(20~30%)に関する実証や、コントラクターの立ち上げによる幅広い飼料生産の取組を行いたい意向。
- 粃米の粉碎機は、今後、メンテナンスに係る部品の入手が困難になることが見込まれているため、淡路瓦の原料となる粉碎土を製造する機械による代用を検討する予定。

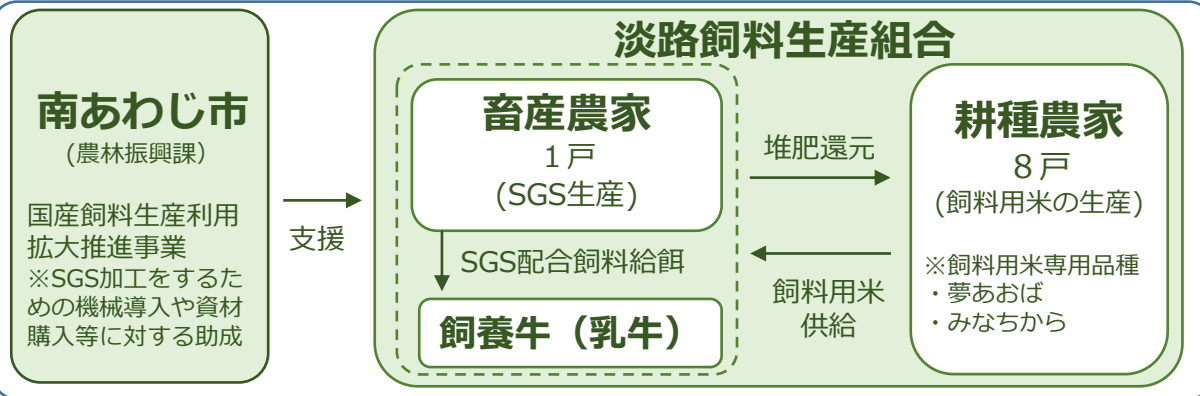


図1. SGSの利用の取組概要

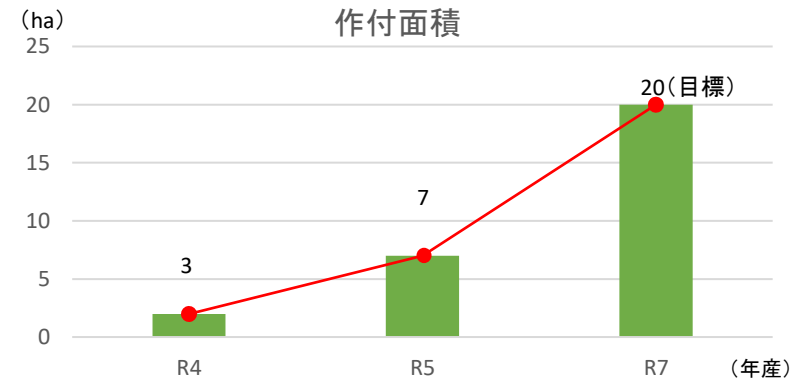


図2. 取組面積の推移(R7年産は目標)



【1次保管】

【粉碎作業】

【加水作業】

【破碎米】

写真. 粃米サイレージ(SGS)の生産工程(淡路飼料生産組合 提供)

生産工程等

- ①粃の水分量を18%程度まで立毛乾燥させたのちに収穫、フレコンバックで1次保管。
- ②冬季に粃米を専用機械で粉碎、加水し、乳酸菌等を加えて約2か月程度の発酵期間。